

2019 年度特別支援学校教員資格認定試験問題（第 1 次）

教職に関する専門的事項に関する科目

（問 1 ～問 20 全 20 問）

時間 12：40～13：40

注 意 事 項

1. 試験監督者から「**解答始め。**」の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけません。
2. 問題冊子は、表紙を除いて 11 ページあります。
3. 解答用紙（マークシート）の指定された欄に**氏名、受験番号**を記入し、科目名と受験番号の該当する○を丁寧に塗りつぶしてください。
4. 解答は、解答用紙の解答欄の該当する○を丁寧に塗りつぶしてください。
5. この試験の解答時間は、「**解答始め。**」の合図があつてから、60 分です。
6. 当該試験開始から終了までは、退室できません。ただし、発病等やむを得ない場合には挙手をし、試験監督者の指示に従ってください。
7. 問題冊子の余白は、下書きに使用しても差し支えありません。
8. 試験監督者から「**解答やめ。**」の合図があつたら、直ちに解答をやめて鉛筆を置き、問題冊子を閉じてください。
9. 試験終了後、問題冊子は持ち帰ってください。

問 1 次の語は、ある人物の教授・学習理論を示したものである。これに関連するものを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

〔反省的思考〕

- ア 教育的教授
- イ 到達度評価
- ウ 五段階教授法
- エ 問題解決学習

問 2 「小学校学習指導要領」（平成 29 年 3 月 31 日，文部科学省告示第 63 号）の「特別活動」の内容に含まれないものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 健康安全・体育的行事では、事件や事故，災害等から身を守る安全な行動について示された。
- イ 学級活動では，一人一人のキャリア形成と自己実現について示された。
- ウ クラブ活動では，同年齢のみの児童同士で協力し活動することについて示された。
- エ 児童会活動では，児童が主体的に組織をつくることについて示された。

問 3 中央教育審議会答申「幼稚園，小学校，中学校，高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について」（平成 28 年 12 月 21 日）では，「社会に開かれた教育課程」の理念を踏まえ，「カリキュラム・マネジメント」の三つの側面が示されている。その内容には含まれないものを，次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 教育内容と，教育活動に必要な人的・物的資源等を，地域等の外部の資源も含めて活用しながら効果的に組み合わせること。
- イ 基礎的な知識及び技能を習得させるとともに，これらを活用して課題を解決するために必要な思考力，判断力，表現力その他の能力をはぐくむこと。
- ウ 各教科等の教育内容を相互の関係で捉え，学校教育目標を踏まえた教科等横断的な視点で，その目標の達成に必要な教育の内容を組織的に配列していくこと。
- エ 教育内容の質の向上に向けて，子供たちの姿や地域の現状等に関する調査や各種データ等に基づき，教育課程を編成し，実施し，評価して改善を図る一連の PDCA サイクルを確立すること。

問 4 「中学校学習指導要領」（平成 29 年 3 月 31 日，文部科学省告示第 64 号）に示された「生徒の発達の支援」の内容として適切でないものを，次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 集団の場面で必要な援助を行うガイダンスよりも，一人一人が抱える課題に個別に対応した指導を行うカウンセリングにより，生徒の発達を支援すること。
- イ 生徒が，学ぶことと自己の将来とのつながりを見通しながら，社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力を身に付けていくことができるよう，キャリア教育の充実を図ること。
- ウ 日本語の習得に困難のある生徒については，個々の生徒の実態に応じた指導内容や指導方法の工夫を組織的かつ計画的に行うこと。
- エ 不登校生徒については，保護者や関係機関と連携を図り，心理や福祉の専門家の助言又は援助を得ながら，社会的自立を目指す観点から，個々の生徒の実態に応じた情報の提供その他必要な支援を行うこと。

問 5 次の A 群は，日本の教育に関する出来事を述べたものである。これらの出来事について，歴史的に古い順に正しく配列されているものを，下の B 群のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

〔A 群〕

- 1 教員免許更新制が導入された。
- 2 養護学校の義務制が実施された。
- 3 完全学校週五日制が実施された。
- 4 新規採用された教員に対する初任者研修が制度化された。

〔B 群〕

- ア 2 → 4 → 1 → 3
- イ 4 → 2 → 1 → 3
- ウ 4 → 2 → 3 → 1
- エ 2 → 4 → 3 → 1

問 6 教育法規上の判断として適切なものを，次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 性行不良による出席停止と同様，感染症にかかっている児童生徒等の出席停止は，市町村の教育委員会が保護者に対して命ずる。
- イ 公立小学校の授業終始の時刻は，学校を設置する市町村の教育委員会が定める。
- ウ 国立や私立の小学校では，懲戒として児童を停学にすることができないが，退学させることはできる。
- エ 小学校に置かれる保健主事は，校長の監督を受け，小学校における保健に関する事項について連絡調整，指導助言に当たる。

問 7 次のA群は，日本教育史上重要な教育改革について説明したものである。それらの改革に係る組織（委員会，会議，審議会など）について，適切な組合せを，下のB群のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

〔A 群〕

- ① 帝国大学令とは別に，大学令が制定され，公立や私立の大学を開設することが可能となった。
- ② 国民学校令が制定され，小学校に代わり，国民学校が戦時下の初等教育を担うことになった。
- ③ 6—3 制の単線型学校体系のもと，小学校と中学校で9年間の義務教育を実施することとなった。
- ④ 生涯学習体系への移行が提唱され，文部省（現在の文部科学省）の社会教育局が改組され，生涯学習局が設置された。

〔B 群〕

- | | | | | |
|---|-----------|-----------|-----------|-----------|
| ア | ① 教育審議会 | ② 臨時教育会議 | ③ 臨時教育審議会 | ④ 教育刷新委員会 |
| イ | ① 臨時教育会議 | ② 教育審議会 | ③ 教育刷新委員会 | ④ 臨時教育審議会 |
| ウ | ① 教育刷新委員会 | ② 教育審議会 | ③ 臨時教育審議会 | ④ 臨時教育会議 |
| エ | ① 臨時教育会議 | ② 臨時教育審議会 | ③ 教育刷新委員会 | ④ 教育審議会 |

問 8 「体罰の禁止及び児童生徒理解に基づく指導の徹底について」（平成 25 年 3 月 13 日，文部科学省通知）の別紙として示された「学校教育法第 11 条に規定する児童生徒の懲戒・体罰等に関する参考事例」が例示するもののうち，正当な行為と判断されるものを次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 立ち歩きの多い生徒を叱ったが聞かず，席につかないため，頬をつねって席につかせる。
- イ 給食の時間，ふざけていた生徒に対し，口頭で注意したが聞かなかったため，持っていたボールペンを投げつけ，生徒に当てる。
- ウ 他の生徒をからかっていた生徒を指導しようとしたところ，当該生徒が教員に暴言を吐きつばを吐いて逃げ出そうとしたため，生徒が落ち着くまでの数分間，肩を両手でつかんで壁へ押しつけ，制止させる。
- エ 生徒指導に応じず，下校しようとしている生徒の腕を引いたところ，生徒が腕を振り払ったため，当該生徒の頭を平手で叩く。

問 9 次の文はある条文の一部である。この条文の出典として適切なものを，下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

児童に関するすべての措置をとるに当たっては，公的若しくは私的な社会福祉施設，裁判所，行政当局又は立法機関のいずれによって行われるものであっても，児童の最善の利益が主として考慮されるものとする。

- ア 児童福祉法
- イ 児童憲章
- ウ 児童の権利に関する条約
- エ 教育基本法

問10 次の文は、ある人物の著作の中の一節である。この著者による言葉として適切なものを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

「教育とは、経験の意味を増加させ、その後の経験の進路を方向づける能力を高めるように経験を改造ないし再組織することである。」

ア 「教育は、人間が、自己自身に関して、また自己自身において、自己を明確に認識し、自然と和し、神とひとつになるように、人間を導くべきであり、またそうでなければならない。」

イ 「私は、この際、教授のない教育などというものの存在を認めないし、また逆に、少なくともこの書物においては、教育しないいかなる教授も認めない。」

ウ 「どの教科でも、知的性格をそのままにたもって、発達のどの段階のどの子どもにも効果的に教えることができるという仮説からはじめることにしよう。」

エ 「教育はそれ自体としてはいかなる目的ももっていない、ということをおぼえてよい。人間、親や教師などだけが目的をもつのであって、教育というような抽象的観念が目的をもつわけではないのである。」

問11 近代教育批判を展開した人物とその代表的著作、並びに関連する用語の組合せのうち誤っているものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

	人 物	代表的著作	関連する用語
ア	ブルデュー (Bourdieu, P.)	『再生産』	ハビトゥス
イ	フーコー (Foucault, M.)	『監獄の誕生』	規律訓練権力
ウ	イリイチ (Illich, I.)	『脱学校の社会』	サマーヒル・スクール
エ	フレイレ (Freire, P.)	『被抑圧者の教育学』	銀行型教育

問12 次の文はある人物について述べたものである。当てはまる人物を、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

1900年に『児童の世紀』を世に送り出し、その中で、近代化がもたらす様々な社会問題（児童労働や女性労働、教育の不平等、児童体罰や虐待、女性の権利問題など）を、子ども尊重の教育、母性保護、母親が核となる家庭（教育）を推奨することで解決しようとする教育思想と社会思想を唱えた。

- ア ケイ (Key, E.)
- イ モンテッソーリ (Montessori, M.)
- ウ フレーベル (Fröbel, F. W. A.)
- エ クループスカヤ (Krupskaya, N. K.)

問13 次の文章はある人格を測定する検査について述べたものである。当てはまる検査名を、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ローゼンツァイク (Rosenzweig, S.) によって開発された人格検査である。主張行動や攻撃行動を含むすべての目標指向行動をアグレッションと定義し、そのなかでも特に対人関係から生じるフラストレーション状況下でのアグレッション反応を測定する検査である。24の欲求不満場面から構成されており、各場面に対する回答は、アグレッションの方向とアグレッションの型の二つの次元から評価される。精神力動的な観点よりアセスメント可能であり、臨床機関や病院、司法場面、学校等の幅広い領域で用いられている。

- ア バウムテスト
- イ P-F スタディ
- ウ SCT
- エ Y-G 検査

問14 次のA群のカウンセリングの理論や技法と関連がある人物がB群に示されている。A群のどれにも当てはまらないものを、下のB群の**ア**～**エ**の中から一つ選んで記号で答えなさい。

[A 群]

- 1 マイクロカウンセリング
- 2 遊戯療法
- 3 論理療法

[B 群]

- ア マズロー (Maslow, A. H.)
- イ アクスライン (Axline, V. M.)
- ウ アイビー (Ivey, A. E.)
- エ エリス (Ellis, A.)

問15 ストレスに関する次の文章中の ～ に当てはまる適切な語句を、それぞれ下の語群1～8の中から選んだ組合せとして正しいものはどれか。下の解答群ア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ストレスに関する心理学的な研究は、 が中心となっていたライフイベントの測定による社会的再適応評定尺度の研究に始まる。配偶者の死や結婚などの日常生活のなかで起きる出来事の体験とその変化に再適応するのに必要なエネルギー量をストレスとしてとらえた。現在、ストレスの生じるメカニズムを心理学的に説明する最も影響力のあるモデルは が中心となつて提唱したモデルである。モデルによると、心身に影響を及ぼす要因は と呼ばれ、 が心身に及ぼす影響は個人が をどのように認知し、それに対してどのように したかによってその影響は違ってくる。とされている。 は主に2種類に分けられ、ストレスの原因それ自体を変化させることを目的とした のものと、 によって生じた不快感のコントロールを目的とする のものに分けることができる。

〔語 群〕

- 1 情動焦点型
- 2 問題焦点型
- 3 コーピング
- 4 ストレス
- 5 ラザルス (Lazarus, R. S.)
- 6 ホームズ (Holmes, T. H.)
- 7 ストレッサー
- 8 解 決

〔解答群〕

	A	B	C	D	E	F
ア	6	5	7	3	2	1
イ	5	6	4	3	1	2
ウ	6	5	4	8	1	2
エ	5	6	7	8	2	1

問16 エリクソン (Erikson, E. H.) が提唱した発達理論として適切でないものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア エリクソンはライフ・サイクル (生活周期) の視点から、人間の精神発達・人格発達は生涯を通じてのテーマであると考えた。
- イ エリクソンの発達段階は八つの段階に分かれ、各発達段階にはその時期に中心的な発達課題があるとされている。
- ウ エリクソンによるアイデンティティの概念は、その後多くの研究者によって理論的に洗練され、特にマーシャ (Marcia, J. E.) が提唱したアイデンティティ・ステータスの四つの地位は有名である。
- エ エリクソンの発達段階に従うと、小学生はアイデンティティの発達課題に該当する時期であり、この時期に自分がどのような仕事に向いているのか考えることが重要である。

問17 ある学年の子どもたち 150 人に、国語と社会のテスト (100 点満点) を行った結果に関する説明として、正しいものを次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 国語のテストの得点の中央値が、社会のテストの得点の中央値よりも高かったので、国語のテストの得点が、社会のテストの得点よりも高い子どもの数が多いと言える。
- イ 国語のテストの得点の平均値が 60 点であり、社会のテストの得点の平均値も 60 点だったので、各子どもにとって、国語のテストと社会のテストの難しさは、同じ程度であったと言える。
- ウ 国語のテストの得点の標準偏差の値が、社会のテストの得点の標準偏差の値よりも小さかったので、国語のテストの得点は、社会のテストの得点よりも、平均値の近くにあって散らばりが小さかったと言える。
- エ 国語と社会のテストの得点の間のピアソンの積率相関係数を求めたところ、0.75 だったので、国語のテストの得点と社会のテストの得点の間に因果関係があると言える。

問18 次のA群の知能に関する説明文について、正しいものを○、正しくないものを×とすると、適切な組合せを、下のB群のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

〔A 群〕

- 1 知能とは、「合理的に思考し、数学的能力を基礎とする記憶力を使い、知的課題を素早く解く能力のことである」というウェクスラー (Wechsler, D.) の定義が、広く受け入れられている。
- 2 知能は、因子分析によって抽出される「空間」、「知覚判断の速さ」、「記憶」などの多因子によって構成されているというサーストーン (Thurstone, L. L.) の多因子説がある。
- 3 知能には、知的活動全体に寄与する「一般因子」と、個別具体の能力に寄与する「特殊因子」の2種類の因子が存在するというスピアマン (Spearman, C. E.) の2因子説がある。
- 4 知能には、少なくとも八つの知能が存在し、他者の気分や願望を理解し、それらに応えることができる対人的知能も知能の一部であるとするガードナー (Gardner, H.) の多重知能理論がある。

〔B 群〕

ア	1 — ×	2 — ○	3 — ○	4 — ○
イ	1 — ○	2 — ×	3 — ○	4 — ×
ウ	1 — ×	2 — ○	3 — ○	4 — ×
エ	1 — ○	2 — ○	3 — ×	4 — ○

問19 援助行動の傍観者効果が起こる理由として正しいものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 援助場面に他者が存在しないことによって、各個人の援助行動が起こりにくくなる「社会的抑制」という現象が起こるからである。
- イ 援助場面に居合わせた人の数が多いと、援助の責任や非援助に対する非難の程度が、その場に居合わせた人数の間で分散される「責任の分散」という現象が起こるからである。
- ウ 観察者がその場に居ることによって、課題遂行が促進される「社会的促進」という現象が起こるからである。
- エ 一人で援助をするとコストが大きいのが、その場に居る全員が援助すると、全員にとって望ましい報酬が得られる「社会的ジレンマ」という現象が起こるからである。

問20 次のA群の集団についての説明文について、正しいものを○、正しくないものを×とすると、適切な組合せを、下のB群のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

〔A 群〕

- 1 集団の中の個人が、所属する集団に感じる魅力の総体のことで、個人を集団内にとどまらせる力のことを「集団凝集性」と言う。
- 2 集団の中の個人が、所属する集団の大多数の成員と共有している判断の枠組みや思考様式、あるいは成員として期待される行動の標準のことを「集団規範」と言う。
- 3 自分が属する集団の多数意見と、自分の意見が違う場合に、自分の意見を変えて集団の多数意見に従うことを「集団決定」と言う。
- 4 集団内では、勇ましい意見を言うほうが議論をリードしやすいことから、集団全体の意見が極端な方向に偏ってしまう現象を「リスキー・シフト」と言う。

〔B 群〕

- | | | | | |
|---|-------|-------|-------|-------|
| ア | 1 — × | 2 — ○ | 3 — ○ | 4 — ○ |
| イ | 1 — ○ | 2 — × | 3 — ○ | 4 — × |
| ウ | 1 — × | 2 — ○ | 3 — ○ | 4 — × |
| エ | 1 — ○ | 2 — ○ | 3 — × | 4 — ○ |